



photo: Motoyuki Shitamichi

THE WAY I HEAR, Hanoi 2011

ハノイ市街におけるリスニング・リサーチをもとにしたインスタレーション

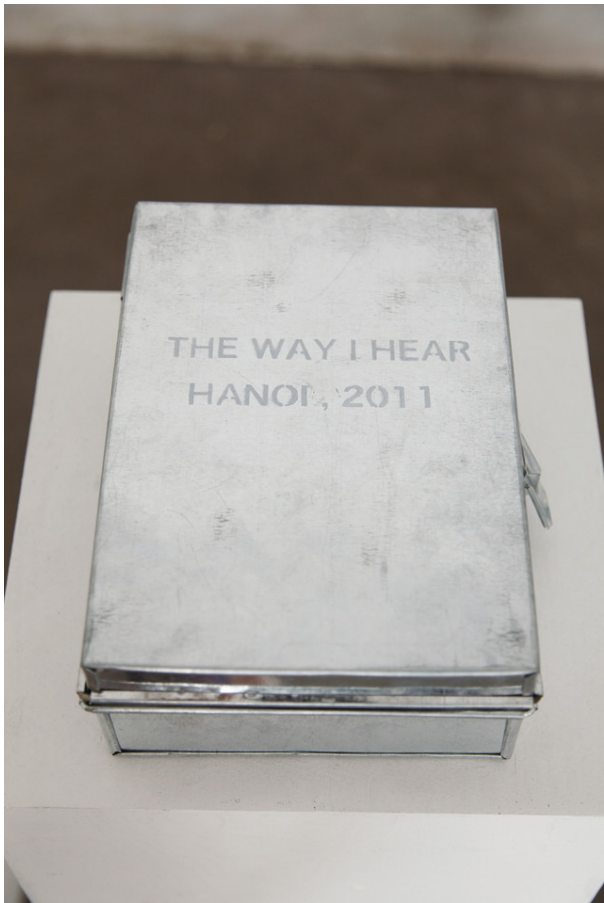
三人展 "NOWHERE", 国際交流基金ハノイ、ベトナム、2011.10.29 – 11.20

通常はガレージとして使われているスペースにはインストラクションが掲示されており、鑑賞者は台の上のブリキ箱から耳栓をとりだし装着する。他の台に置かれた5つの箱の中には音のテキストが書かれたノートが設置されている。

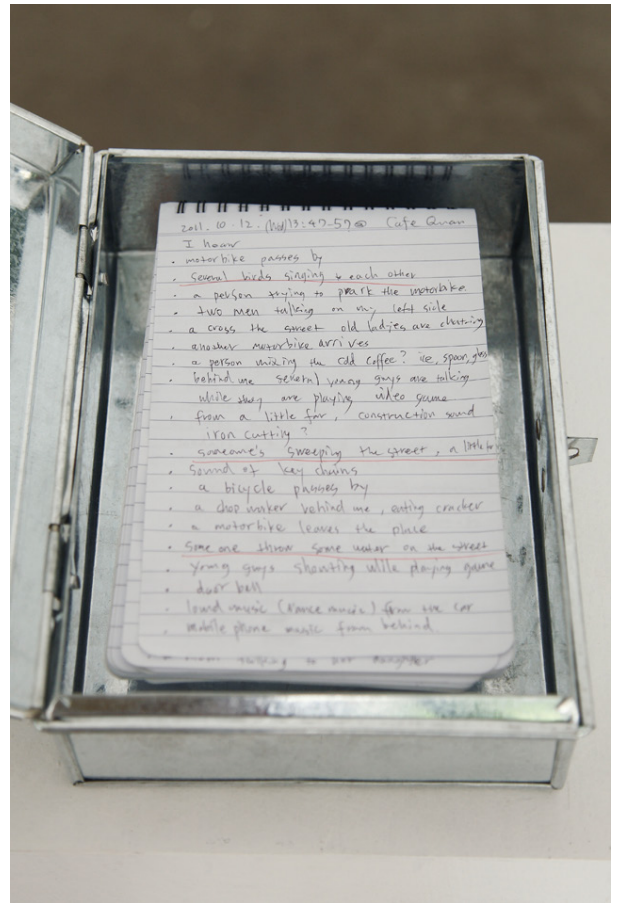
ブリキ箱の中に1冊ずつ置かれたノートは、アーティストと4人のベトナム人コラボレーターが、ハノイ市街でそれぞれに選んだ場所と時間に書き留めた1ヶ月間の「音の日記」が記されている。簡単な決めごととして、1回のリスニングは約10分間、その間に耳に入ってきた音や状況を聞いたまま、目で確認せずに、短い文章で書き留めリストにする事とした。

鑑賞者はこれらのノートを読み進めるうちにテキストから想起されるサウンドスケープの「リスナー」となる。そして作品空間から離れる際に耳栓を外し、ガレージを後にする時に、日常の音に対して意識がチューニングされた状態で、実際に周囲から聴こえてくるハノイの街の音と再び接する。

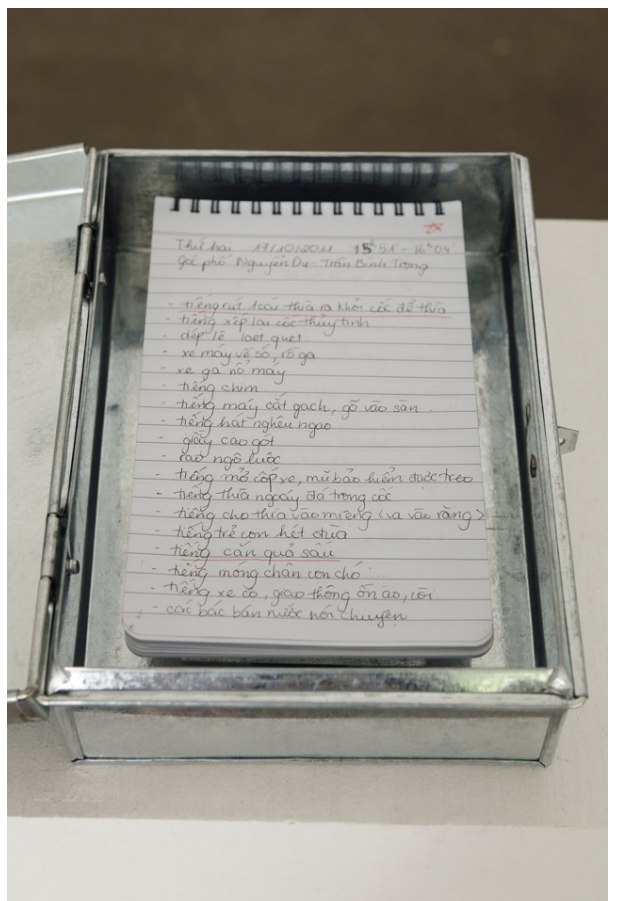
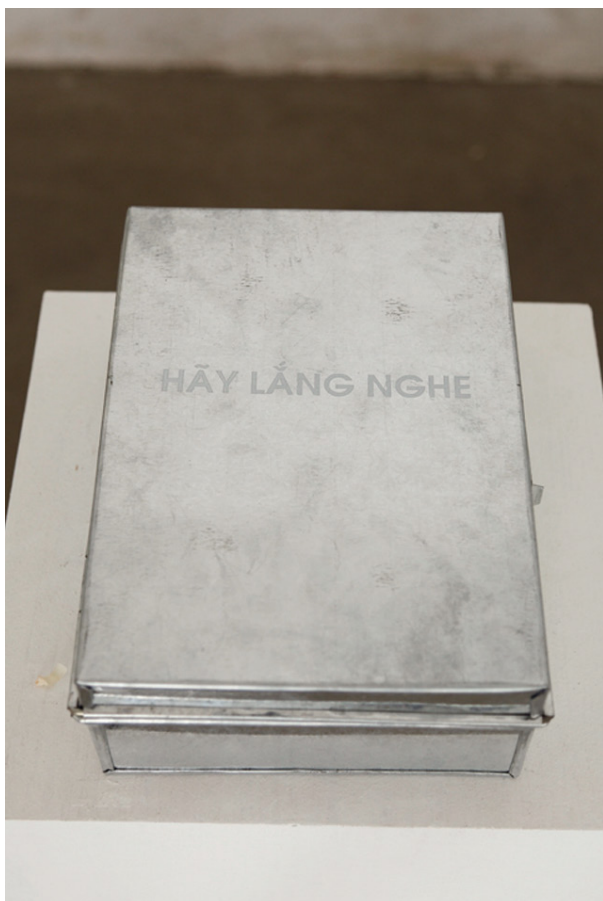
詳細: http://www.afewnotes.com/TWIH_Hanoi2011_jp.html



ブリキ箱、スプレーペンキ サイズ:24.5×17×8.5cm



ノートサイズ:21×13cm





(リスニングメモより抜粋、原文英語)

2011.10.19 14:14-24, @NOI QUY SAN CHOI 04

路地裏の小さな広場にて

- いろんな種類の鳥が鳴いている(継続的に)
- 右側のアパートの上階あたりから 金槌で釘を打つ音?
- 私の後方のアパートの向こうから 交通音
- 右側の狭い路地を クラクションと共にバイクが通り過ぎる
- 誰かがチェーンソーで作業している
- コンクリート広場に 幾つか落ち葉が風で動く 木から落ちる
- 老女がバケツの水をまく
- 左後方から ハイヒール履いた女性が通り過ぎていく
- 誰かが口笛を吹いている
- アパートの中から 洗濯機(ポンプの音)
- ポケットの中の鍵の音と共に 誰かが通り過ぎる
- すぐ脇にバイクが停車